



日本は島国ですが、平地が少ない山国であるという特徴もあります。気候や災害の発生にも大きく関係している山や山脈について見ていきましょう。



日本の山と山脈

関連 ➡ 18ページ 日本の気候区分

日本の国土は山がちで、北海道・本州・四国・九州の各島の中央部には高い山や山地、山脈があります。また、火山が多い国でもあり、近年では北海道、伊豆諸島、九州地方などで火山災害が発生しました。

標高3000m以上の山は、【7】山脈・【9】山脈の一部と、【6】山だけです。【2】山脈・越後山脈・中国山地・四国山地などは、気候を分ける境界線です。

標高が高い山、山脈、山地

名前	特徴
【6】山	山梨県と静岡県にまたがる日本の最高峰（標高3776m）。噴火の記録が数多く残る火山でもある。
【7】山脈	北アルプス。火山も多い。
【8】山脈	中央アルプス。林業がさかん。
【9】山脈	南アルプス。日本で2番目に高い北岳がある。

各地方の主な火山

地方	名前	特徴
北海道	有珠山	2000年に噴火。1940年代には、周辺の平地が盛り上がり、昭和新山ができた。
関東・中部	【3】山	江戸時代に大噴火。山麓でキャベツの抑制栽培。
	【5】岳	山麓の【14】でキャベツやレタスの抑制栽培。
九州	【12】岳 (普賢岳)	1991年に噴火し、火砕流による大災害を起こした。そのときに平成新山ができた。
	霧島山 (新燃岳)	2011年に噴火。火山灰などにより、農業や観光業に大きなえいきょうが出た。
	【13】	鹿児島湾の島だったが、1914年の噴火で大隅半島と地続きになった。現在も活発な火山活動を続ける。

ポイント 地名と位置を覚えよう!

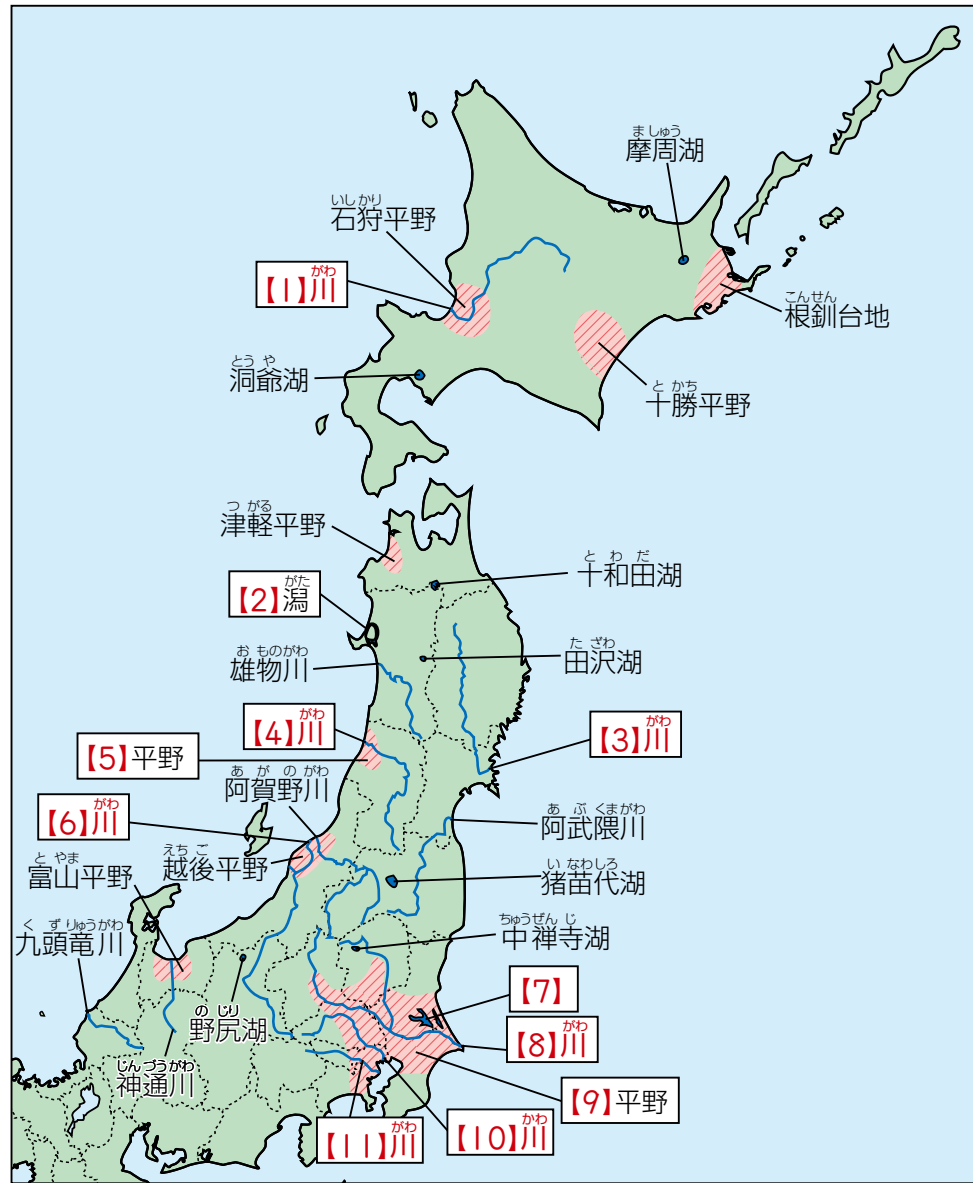
- 標高が高い山と山脈…富士山・日本アルプス（飛騨・木曾・赤石山脈）
- 活発な火山…北海道・伊豆諸島・九州地方に多い

入試ではここが問われる!

- 地図中に示された山や山脈の名前を問われます。
- 山や山脈がまたがる都道府県名を問われることがあります。
- ある直線に沿った日本列島の断面図を題材にした問題が出されることがあります。山や山脈のほか、平野、盆地などの位置関係の理解が求められます。

4 東日本の川と平野、湖

豊富な水を得られ、また、土地が平らであるため、川沿いや平野には都市や産業が集中しています。まずは、北海道・東北・関東地方と中部地方日本海側の川と平野、湖などを見ていきましょう。



東日本の川と平野、湖

長さが日本一の川は【6】川で、長さは約367kmです。2番目に長い川は【8】川で、【8】川は流域面積の広さが日本一です。3番目に長い川は【1】川です。

東日本の主な川

主な川	特徴
【1】川	下流の石狩平野は、土地改良を行ったことで稲作地帯となった。
【3】川	岩手県・宮城県を流れる。東北地方で最も長い川。
【4】川	山形県を流れる。下流の【5】平野は代表的な稲作地帯。
【8】川	【9】平野を流れる。茨城・千葉県境をなす。
【11】川	山梨県から東京都を流れる。下流では東京都・神奈川県境をなす。 【8】川・荒川とともに、関東地方の都県の水がめ。
【6】川	長野県・新潟県を流れる。長野県内では千曲川という。下流の越後平野では、水はけをよくするための土地改良がなされた。

東日本の主な湖

主な湖	特徴
洞爺湖	北海道のカルデラ湖。2008年に周辺でサミットが開催された。
十和田湖	青森・秋田県境のカルデラ湖。2つの半島がある特徴的な形。
【2】瀧	かつては日本で2番目に広い湖だったが、大部分が干拓された。
田沢湖	秋田県のカルデラ湖。深さは423mで日本一。
【7】	茨城県の湖。現在、日本で2番目に広い湖。

ポイント 地名と川の流路を覚えよう！

- 長い川…1位－信濃川，2位－利根川，3位－石狩川
- 稲作地帯…石狩川－石狩平野，最上川－庄内平野，信濃川－越後平野

入試ではここが問われる！

- 地図中にえがかれた川の流路をもとに、その川の名前や、流れている地域（都道府県名や平野名）が問われます。
- 川の流路を選ぶ問題もあります。河口や、水源となる地域のおおまかな位置を覚えている必要があります。